

和泉市における公共交通利用活性化プロジェクト

市民・事業所・学校を対象とした総合的なモビリティ・マネジメント



稲垣 学：和泉市都市デザイン部道路河川課

小澤友記子：株式会社交通システム研究所

中塚 教：和泉市都市デザイン部

内田 敬：大阪市立大学大学院工学研究科

連絡先：和泉市都市デザイン部道路河川課

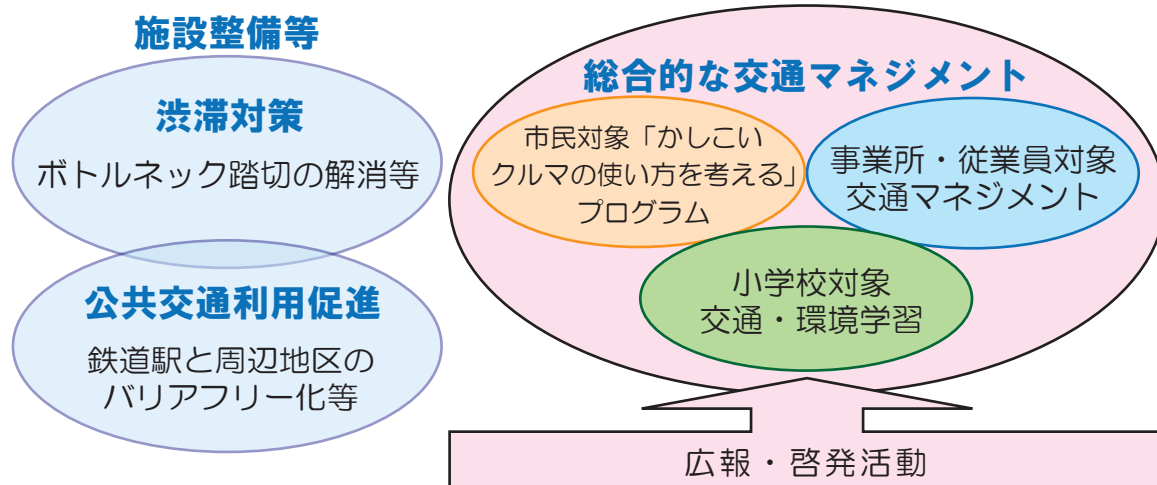
E-Mail：douka@city.izumi.osaka.jp

「かしこいクルマの使い方を考えるプロジェクト」検討委員会

URL：http://www.transp-izumi.net

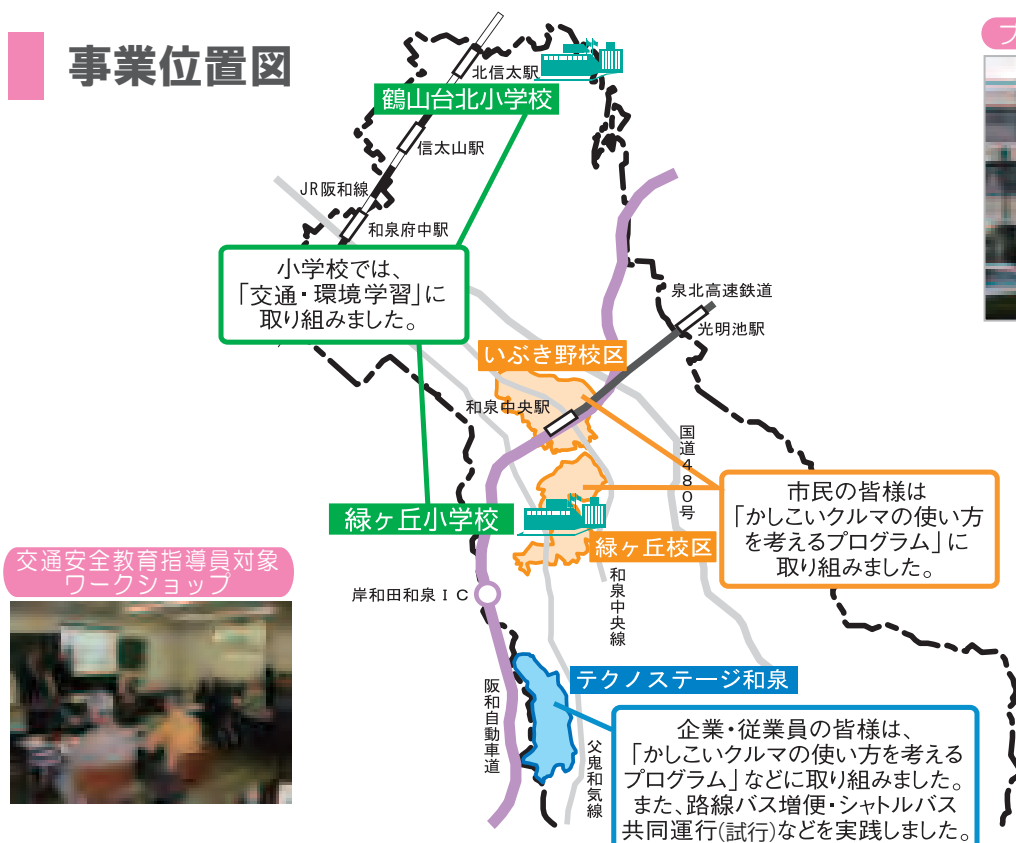
和泉市・国土交通省・環境省・大阪府・テクノステージ和泉まちづくり協議会・和泉警察署・大阪市立大学・南海バス(株)

EST モデル事業の概要

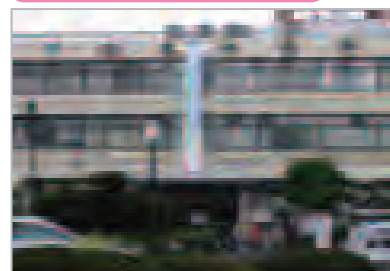


本事業では、市民、事業所及び従業員、学校、並びに交通事業者や行政団体などが協働して、クルマ利用の適正化と公共交通利用促進を図り、交通に係るCO₂削減及び省エネルギーを推進しました。

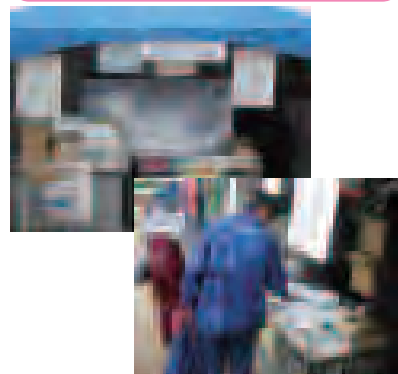
事業位置図



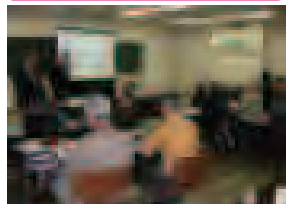
プロジェクトの広報懸垂幕



商工まつりで公共交通情報を配布



交通安全教育指導員対象ワークショップ



市民対象「かしこいクルマの使い方を考える」プログラム

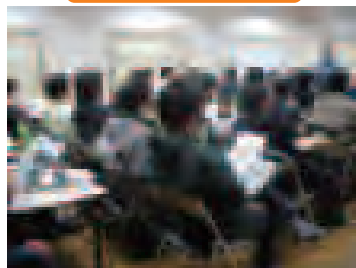
市民対象に、「電車・バス便利マップ」「最寄りバス停時刻表」「かしこいクルマの使い方考える小冊子」を配布し、2回のアンケート調査を通して“かしこいクルマの使い方”について考えていただいた。
プログラムの実施に際しては、プロジェクト説明会を開催して参加協力を要請し、町会や自治会の協力をいただいてツールを配布した。

プロジェクト説明会・報告会

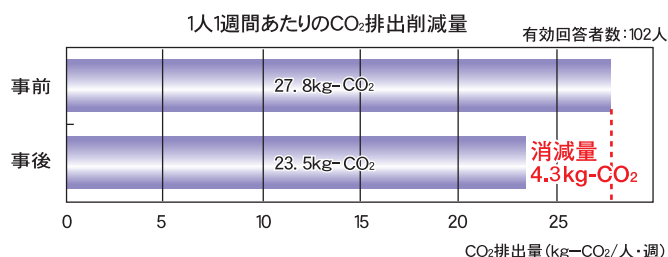
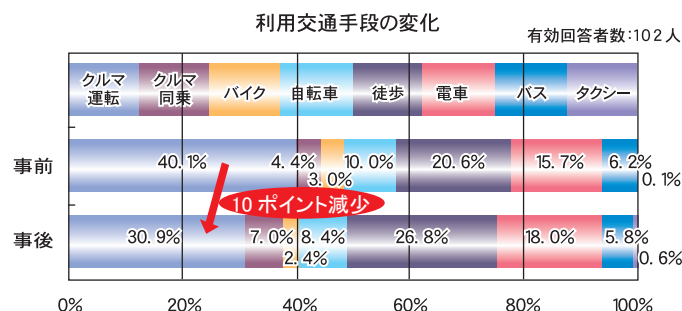
緑ヶ丘校区説明会



いぶき野校区報告会



「かしこいクルマの使い方考える」プログラムの効果



事前と事後のクルマ利用時間の削減効果を年間に換算すると、今回プログラムに参加していただいた298名の方では、CO₂排出削減量は68トン-CO₂/年となった。
杉の樹木に換算すると、約4,900本が吸収するCO₂に相当する。

配布ツール（情報提供資料）

公共交通利用情報やプロジェクトに関する情報は町会、自治会を通じて、5,201世帯に配布した。

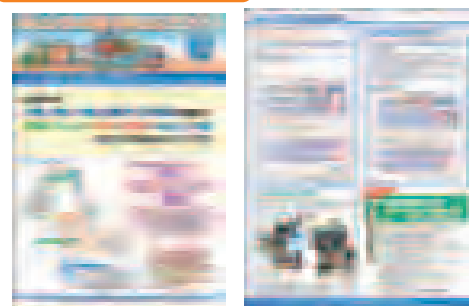
かしこいクルマの使い方小冊子



いずみ電車・バス便利マップ



プログラム広報チラシ

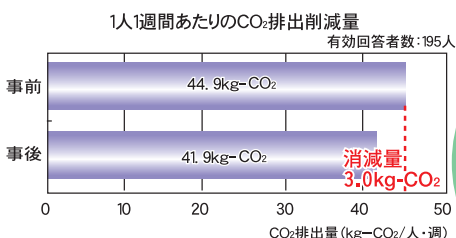
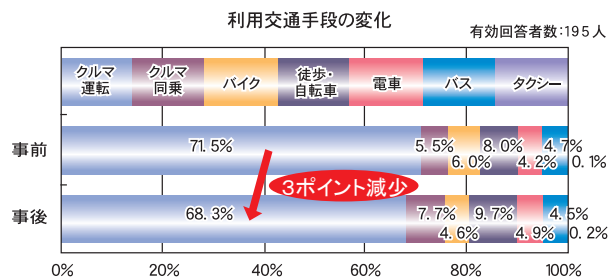


事業所・従業員対象 交通マネジメント

事業所団地テクノステージ和泉（116 事業所、従業員約 4,000 人）を対象として、事業所・従業員対象の交通マネジメントを実施した。

企業、従業員、テクノステージ和泉まちづくり協議会、行政団体が協働して、それぞれの施策を実施することで、取り組みの効果を相乗的に高めることを期待した。

- テクノステージ和泉にお勤めの従業員（3538 名）の皆様、電車・バス便利マップ、事業所の最寄バス停時刻表などを提供し、2 回のアンケート調査で「かしこいクルマの使い方」について考えていただいた。
- 事前 / 事後を比較すると、クルマ利用の割合が 3 ポイント減少し、CO₂ 排出量が減少した。取り組んだ従業員全員（581 名）が 1 年間この取り組みを継続すると、約 91 トンの CO₂ を削減し、これはスギ 6500 本が吸収する量に相当する。



従業員

企業

- 従前の事業所アンケート調査で、既に事業所が自主的に相当程度の交通マネジメント施策を実施、または検討されているため、継続的な取り組みを目指して、事業所が実施可能な交通マネジメント施策を自主的に計画立案して実行するための試みを行った。
- その結果、28 事業所に「交通マネジメント計画書」を作成していただいた。

目的・目標

- CO₂削減などの環境問題の改善
- 交通渋滞改善/交通安全/迷惑駐車削減などの交通問題の改善 など

具体的な施策

- 従業員への公共交通・自転車利用の推奨
- エコドライブの推奨・研修
- 通勤制度の見直し/マイカー通勤許可の制限 など

- 従業員が取り組んだ「かしこいクルマの使い方」を考えるプログラムでも、「交通マネジメント計画書」を計画した事業所の従業員は、計画しなかった事業所の従業員よりも、クルマ利用率が大きく減少した。

共同バス運行（試行）

- 11/15～12/28 の期間に、泉大津・和泉府中駅～テクノステージ間のシャトルバスを運行した。
- 岸和田・東岸和田駅～テクノステージ間は大阪いずみ生協協同組合が運行するバスを共同利用させていただいた。



利用者の声

「駅から乗継がなくて便利だった。」
「継続して運行してほしい。」
「利用者がもっと増えればと思う。」

テクノステージ和泉
まちづくり協議会

行政団体等

路線バスサービスの拡充

- 路線バスの便数を倍増。
- 直行バスの増便、利便性向上。
- 最終便の延長（約 30 分延長）。

エコドライブ共同研修会

- エコドライブへの理解を深め、普及を推進するために、希望する事業所を対象に、エコドライブの共同研修を開催。
- エコドライブの走行実習の結果、一人あたりの燃料消費率が 15.5%改善、平均燃費が 18.3%改善した。



エコドライブの必要性、運転操作方法の講義を受けました。



実際にエコドライブ走行を行い、燃費の改善率を確認しました。

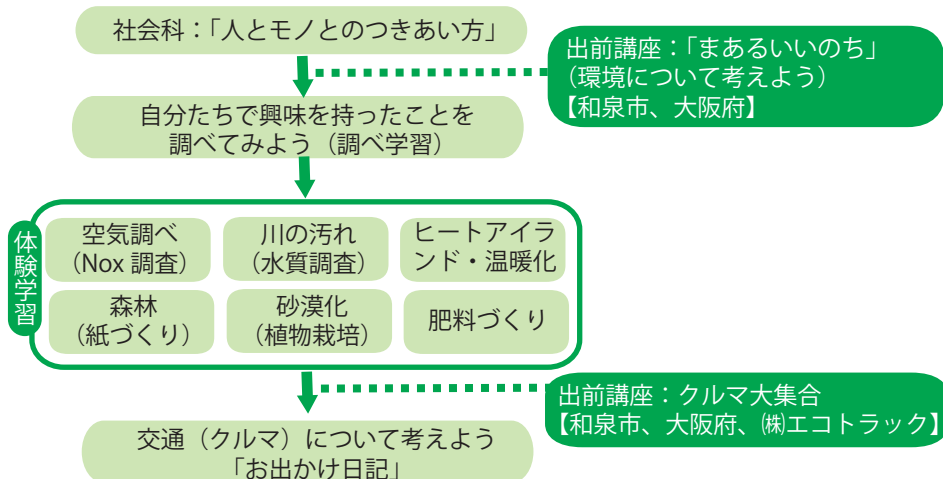
小学校対象 「交通・環境学習」

大阪府、和泉市教育委員会その他の協力を得て、市内小学校2校で「交通・環境学習」を実施した。

取り組み校	鶴山台北小学校 5年3クラス（110名）	緑ヶ丘小学校 6年3クラス（99名）
取り組み期間	10月～3学期	3学期
教科	総合的な学習の時間 導入教科：社会科 「人とモノとの付き合い方」	総合的な学習の時間 導入教科：理科「環境」 ～自然とともに生きる～

鶴山台北小学校

各生徒が興味を持ったことを調べるという体験学習を行い、私たちの暮らしと環境を身近にとらえて、出前講座「クルマ大集合」で交通との関係を実感した。「お出かけ日記」では、ふだんの暮らしの中で外出を記録して、エネルギー消費量などを比較し、移動の際の交通手段との関係を考えて。



●クルマ大集合

クルマの排気ガスを調べました。

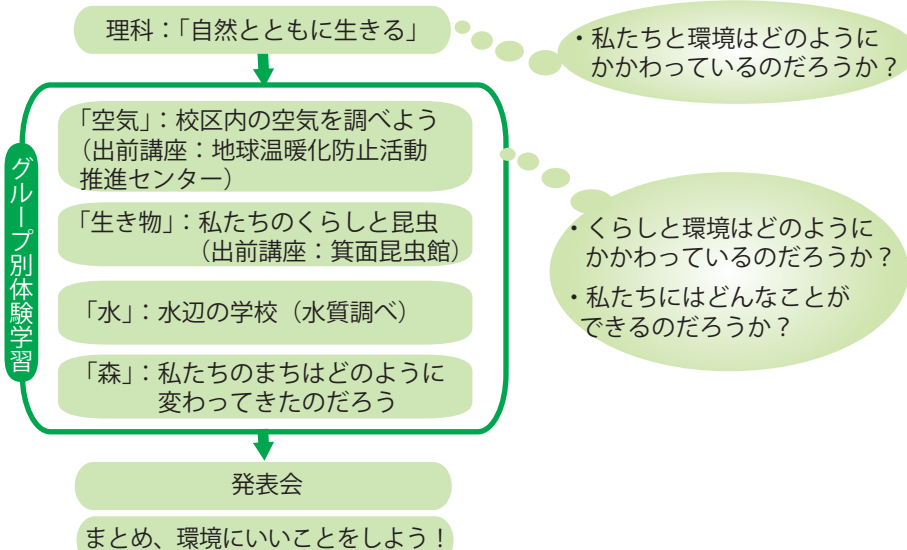
バスを見学しました。

ソーラーカーに乗ってみました♪

●お出かけ日記

緑ヶ丘小学校

理科「自然とともに生きる」の学習をきっかけとして、生徒が興味を持った4テーマのグループ毎に体験学習を行った。体験学習のまとめを通して、CO₂や省エネなどとの関係について話し合うとともに、自分たちでできることを提案して実践に移すことが大切であることを学んだ。



●発表会

環境や交通のことについて、調べたことを発表しました。